

日本倫理・哲学グランプリ 2025

【課 題】

次の4つの課題文のうちから1つを選択し、後の「哲学エッセイを書くにあたって」を参考にしつつ、エッセイを書きなさい。

- ① 善く生きることと、美しく生きることと、正しく生きすることは、「同じ」ことである。

プラトン『クリトン』

- ② 偶然が人間の実存性にとって核心的全人格的意味をもつとき、偶然は運命と呼ばれるのである。

九鬼周造『偶然性の問題』

- ③ あなたが望むどんな経験でも与えてくれるような、経験機械があるとしよう。とんでもない神経心理学者たちがあなたの脳を刺激して、見事な小説を書いている、友達をつくっている、面白い本を読んでいるなどと思い、感じるようにさせることができるとする。その間中ずっと、あなたは、脳に電極を取りつけられたまま、水槽の中に浮かんでいる。あなたは自分の人生のもろもろの経験をプログラムしたうえで、この機械に一生繋がれているべきだろうか？

ロバート・ノージック『アナーキー・国家・ユートピア』

- ④ 近年中国、韓国、アメリカなどの国で、死んだペットの犬や猫の細胞からクローンを作るビジネスが急成長している。死んだ生き物のクローンを生み出す技術は、絶滅した種を復活させるなど様々な応用できるが、どのようなことであれば許されるのか。倫理的・哲学的観点から考えなさい。

哲学エッセイを書くにあたって

哲学エッセイは、学校でよく課題に出るいわゆる「生活作文」（生活の中で体験したことについて自分が感じたこと、考えたことを書くもの）ではありません。そうではなく、ある問題やテーマに関して、自分なりに問いを立て、様々な角度から考察し、筋道立てて書くものです。評価のさいには以下のような点が重視されます。

- ・ 選んだ課題文に含まれるテーマや問題とどれくらい向き合っているか。
- ・ そのテーマや問題についてどれくらい深く考え、理解しているか。
- ・ 自ら問いを設定し、それに答えるべく論じ、結論を出しているか。
- ・ 主張や意見を述べるさい、なぜそう言えるのか、明確な理由を挙げているか。
- ・ 具体的で分かりやすく、説得力のある首尾一貫した論述になっているか。
- ・ 反対の立場も検討しつつ、自分の立場をはっきりさせて論じているか。
- ・ 自分なりの論点や考えを含んだエッセイになっているか。

こんなことを言われても、実際にはどうすればいいのか分からないかもしれませんし、これらのポイントをすべて満たすなんて無理でしょう。でも、書きながら迷い、悩んでください。それでもチャレンジするのが大事です。